

当院は、阪神なんば線で、なんばから7分です。

龍 灯

発行所

発行者

第 62 号

大阪市史跡  
龍溪禪師墓所

靈龜山

九条院

〒550-0022 大阪市西区本田3丁目4番18号

TEL 06(6583)2725 FAX 06(6583)0908

第廿五代住職

奥田 啓知 (智證)

昨年大晦日の第60回NHK紅白歌合戦では、イギリス人女性で歌手スザン・ボイルさんがゲスト出演。企画コーナーで世界中を魅了した注目の歌声を日本で初披露しました。彼女は、昨年4月に英国のタレンント発掘番組に出演しました。野暮ついた姿でステージに現れたとき、審査員と観客の反応は冷やかでした。ところが、ボイルさんが、ミュージカル「レ・ミゼラブル」の挿入歌「夢やぶれて」を歌いはじめると、あまりに美しい歌声に、会場は騒然となりました。

その映像が動画サイト「ユーチューブ」に投稿されるやクリック数はたちまち数千万件に達しました。彼女の自宅には、各国メディアの取材が殺到するなど、ブームを超えた社会現象になり、今回の紅白の企画となつたそうです。

「分別」という日常語があります。物事の是非、道理をわきまえるといつた意味で、いい意味で使われています。「無分別」はいけない

# 天使の歌声『紅白歌合戦』で初披露 ～差別するこころをなくせ！～

ことなのです。

しかし、仏教では逆で「分別」はいけないことで、「無分別」がいいことなのです。

仏教は私たちに、「分別するな」と教えています。私たちはどうしても事物を「差別」の目で見てしまいますが。仏教語では「差別」を「しゃべつ」と読みますが、大きい・小さい、長い・短い、益虫・害虫、良い子・悪い子、美人・ブスなどと差別をしています。何も区別する必要のないものを、人が自分が自分勝手に区別し、その区別にこだわっていることが「差別」なのです。

ありのままに事物を見るなどを「如実知見（によじつちけん）」ともいいますが、私たちはその「差別」をやめて、「空（くう）」の立場に立つとき、はじめて事物をありのままに見れるのです。

最近は管弦楽団に女性のトランペットやホルンなどの金管楽器の奏者はいます。が、以前は殆どいなかつたそれが総立ちになり、熱狂的な拍手を贈つたのです。

「差別」をやめ、こだわりを捨てれば真実が見えてくるのです。音楽は容姿ではないのです。セクシーな容姿の持ち主ではないと歌手になれないと風潮は間違っているのです。だから、見た目の冴えない48歳の普通の女性が、ひとたび「夢やぶれて」の楽曲を歌いだすと、澄んだ歌声と圧倒的な声量で力強いメロディを伝える歌唱力に約三千名の聴衆が総立ちになり、熱狂的な拍手を贈つたのです。



# 波濤の夢

## (龍溪禪師一代記) その三

### 紫衣事件と龍溪

事態収拾のため僧録の金地院崇伝ら幕閣重役に会おうと江戸に下向した伯蒲慧稜であった。しかし、崇伝は南禅寺山門落慶で江戸を出发しており行き違った。

崇伝とは、飛脚による書状の交信があつたが、寛永五年六月十九日、崇伝宛の飛脚書状には、『愚老義、年八十余万般忘却仕り理事不正に候云々』とあり、また無着道忠の『正法山誌』のなかに「時に琢首座有り、才辯有り、常に伯蒲を助け、この議を主張す。伯蒲老いたり。一に琢の言に依る。琢後名を宗潛と改め龍溪と号す」とあるよう景琢のちの龍溪は師匠伯蒲慧稜の侍者として従い大いに補佐していた。

同年七月二十三日付の崇伝宛の書状では、伯蒲は老中土井大炊頭利勝に会見し望みどおり上間に達したこと、来月二十日ごろ帰洛するとの報じている。ところが、八月十五日に伯蒲は帰洛途上、江州土山で示寂する。世寿八十五であった。

『正法山誌』によると、景琢ら

同行の弟子達は師伯蒲の喪を秘して、使いを妙心寺に送り出迎えさせ、景琢が輿に乗り伯蒲に代わつて勞をねぎらいそのまま龍安寺に帰り、三日後に喪を発表したといふ。妙心寺の大衆は歓喜をもつて、開山関山の冥罰だと一人も弔慰に赴く者が無かつた。

『妙心寺史』(川上孤山著)によると、下向した伯蒲は、妙心寺の位頂(大衆の再上者)の単伝士印と執事の東源慧等が法度に背く首謀者だと訴えた。すぐに単伝、東源の二師が江戸に召され、その主張に理あると見た所司代板倉重宗は、急使を派して僧録崇伝に東上を命じた。金地院崇伝は東上の途、東海道の小田原で不帰の人となつた。そこで幕府は在府中の伯蒲を朝廷と幕府が対立することとなり、この事件に激怒された御水尾天皇は、寛永六年十一月突如、皇女興子(明正天皇)に譲位されてしまつた。

金地院崇伝が示寂したのは、寛永十年一月二十日で、寛永五年

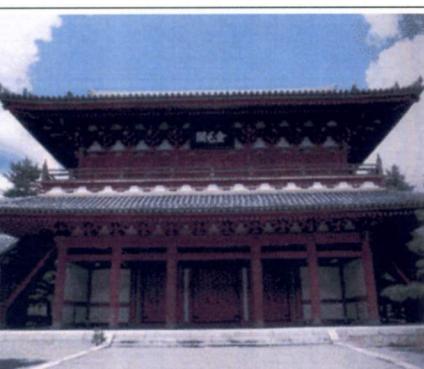
八月十五日江州土山で示寂した伯蒲慧稜が、どうして存命の崇伝の代わりに僧録心得になることができようか。妙心寺の将来を思ひ伝を始め幕閣に妙心寺の現状を訴え事態の好転を計つた伯蒲である。

老躰に鞭打つて江戸まで下向し崇伝の死を始め幕閣に妙心寺の現状を訴え事態の好転を計つた伯蒲であるのに、その記述に悪意すら覚える。大徳寺については、硬派の沢庵宗彭・玉室宗珀・江月宗玩らが寛永六年(1629)二月江戸に向かい、閏二月六日に神田の広徳寺に着いた。幕府は、藤堂高虎・僧録崇伝・天海らが評議し、七月十五日、沢庵を羽州(山形県)上山へ、玉室を奥州(福島県)棚倉に、単伝を羽州の許可なく紫衣を着用した者はこれにそれぞれ流罪とした。江月は处罚を免れた。そして元和令後、幕府の許可なく紫衣を着用した者はこれに剥奪した。これを紫衣事件という。

これはまた朝廷への干渉ともなり、朝廷と幕府が対立することとなり、この事件に激怒された御水尾天皇は、寛永六年十一月突如、皇女興子(明正天皇)に譲位されてしまつた。

(つづく)

示寂したのを幸いに罪を伯蒲にかぶせ、詫び状を呈して罪を逃れようとした。



大徳寺 山門

墓地管理費のご納付をお願いします。墓参りの折、郵便振込みでも結構です。



四天王寺さんの本坊安養殿をお借りして、般若心経一巻をお写経。その後、精進弁当を仏教の食作法を指導の下、精進弁当をみんなでおいしく頂きます。

私事ではございますが、昨年六月より、大阪市仏教青年会の事務局長という大役を任せられるようになりました。そこで、大阪市仏教青年会とは、大阪市内の各宗派寺院の若手僧侶の集まりです。

活動内容の一部を紹介したいともいいます。

副住職コラム



それと一緒に、この活動に参加して、新たな発見をし、いい刺激を受けています。

行事には誰でも参加できます。  
お問い合わせは、副住職まで。

毎年、十二月後半に難波高島屋前にて、僧侶複数名にて募金活動を行っています。集まつた浄財は、読売光と愛の事業団に全額寄付されます。

8/23  
：地蔵盆巡回子ども会  
市内の在る各寺院十ヶ寺以上を、二班に分けて一時間単位で回っていきます。腹話術、紙芝居、人形劇など様々なジャンルの人たちと一緒に子どもたちを楽しませに行きます。

平成22年 年度表

年忌早見表			
年忌	寂年	年忌	寂年
1周忌	平成21年	17回忌	平成6年
3回忌	平成20年	25回忌	昭和61年
7回忌	平成16年	33回忌	昭和53年
13回忌	平成10年	50回忌	昭和36年



◎新規境内墓地(西区で当院だけ)も募集しています。

○宗旨・宗派は問いません  
○お墓を整理して合祀さ  
方もおられます

○永代供養だけの方も大丈夫  
○○生前に依頼もできる  
○○維持管理料は不要  
○○永代志納金 一靈三十万円  
○永代立牌は二重顔

○ご遺骨は大龜地蔵尊の蓮台下で土に還るよう埋葬さ  
れる

○繼承者がいなくても安心  
○無縁になる心配がない  
○お寺が続く限り供養される  
○永代位牌が位牌堂に祀れる  
○彼岸・お盆には大勢の僧侶  
の回向がなされる

お墓を建てても、いはずれは無縁になるから、とのお考えの方の相談を受けて、できた永代供養合祀墓です。

(大龜地藏尊) 永代供養墓

詳しくは、当院ホームページをご覧下さい。→<http://www.kyutouin.or.jp>

墓地管理費のご納付をお願いします。墓参りの折、郵便振込みでも結構です。

## ●たばこ 1 箱 400 円 ●

今年 10 月 1 日から一般的なたばこ 1 箱（20 本入り）の価格が 400 円以上になる見込みだそうです。喫煙者にとっては、1 日にたばこ 1 箱を吸うとして、1 ヶ月で 3,000 円程度の出費が余計にかさむことになり、不景気で小遣いのやりくりに苦しむなか、「値上げを機会に禁煙したい」という人は少なくありません。

小衲もかつては愛煙家でした。最低でも 1 日に 1 箱は吸っていました。大学生になって、少しでも大人ぶりたく、たばこを吸いだしました。最初は口でふかすだけでしたが、段々と中毒となりヘビースモーカーの仲間入り。中学教師に奉職しても、生徒には禁煙指導しつつも、やめることが出来ませんでした。

朝起きてブカブカ、授業の合間にブカブカ、飯喰ってブカブカ…。それこそ、歯の裏は真っ黒の状態でした。勿論、教師の立場上禁煙に挑戦したことなどありました。吸いたくなったら水を飲む、飴をなめる、大きく深呼吸をする。禁煙を意識すればするほど禁煙できませんでした。

小衲が禁煙できたのは、末っ子の娘が家内のお腹に入っている頃、忘年会での酒とたばこで、翌日声が出なくなりました。吸いたくとも喉が許してくれません。その日は自然と禁煙できました。翌日、少しは楽になりましたが、「せっかく 1 日禁煙できたのだから、もう 1 日我慢しよう」と、日々を重ねいつの間にか禁煙に成功したのです。

実父は私以上に愛煙家でした。健康の為に禁煙するように言つてきましたが、「死ぬときは死ぬ」と取り合ってくれませんでした。その父は 59 歳の年に肺がんが見つかり、60 歳の誕生日を迎えた翌日に不帰の人となりました。

父の遺品を整理していると、買いただめた愛好の外国タバコがズタズタに引きちぎられていました。

小衲、今年、父の発病した 59 歳になります。



ご  
案  
内

### さん もん え 山門会 (春彼岸法要)

3 月 23 曰 (火)  
午後 1 時半 より

※ ご先祖供養です。宗旨に関係ありません。  
ご回向お申込み下さい。

清興 : 腹話術『アラカルト』武内千恵美 先生

墓地管理費のご納付をお願いします。墓参りの折、郵便振込みでも結構です。

## 編集後記

▼ 昨年の流行語大賞は「政権交代」でした。

それをもじって、私的な年賀状には「成犬後退」と題して小文を載せました。

▼ 昨年末、我家の引退犬のママの左後足の指先に悪性黒色腫ができました。幸いにも、早期発見で指一本とその足のリンパ節を切除し、抗がん剤治療で肺への転移を抑えていました。今後どのように推移するのか心配です。アースマラソンに挑戦しているタレントの

間寛平さんも、トルコで前立腺ガンに罹患していることが判明しました。

▼ 小衲も、昨年一月五日に大腸ポリープ切除手術で完治したはずでしたが、昨年秋の人間ドックで再び潜血便反応が出て、一月二十五日に再び内視鏡手術を受けることになりました。大阪は人間ドックで要精検がでたのに再診をしないで手遅れになる患者の数が多いそうですが。ジャーナリストの鳥越俊太郎さんも仕事にかまけ、診察が遅れ大腸ガンが肺や肝臓

に転移して四回の大手術を受けられました。間寛平さん六十歳。六十歳は還暦のお祝いですが、実は男の厄年でもあるのです。小衲も五十九歳、実父が肺ガンで倒れた歳です。

▼ 前回の四十二歳の大厄では、九島院の平成復興事業をして厄払いしました。厄年は身を慎む事が大事ですが、逆に大きなことをして厄払いできるとの説もあります。今は副住職もいます。助けを得て九島院の更なる発展に邁進しようと新年に祈願しました。